



そろそろインフルの季節です。 感染予防はしっかりと!

令和元年 10月16日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年 第41週分・10月7日～10月13日)

《インフォメーション》

●インフルエンザ

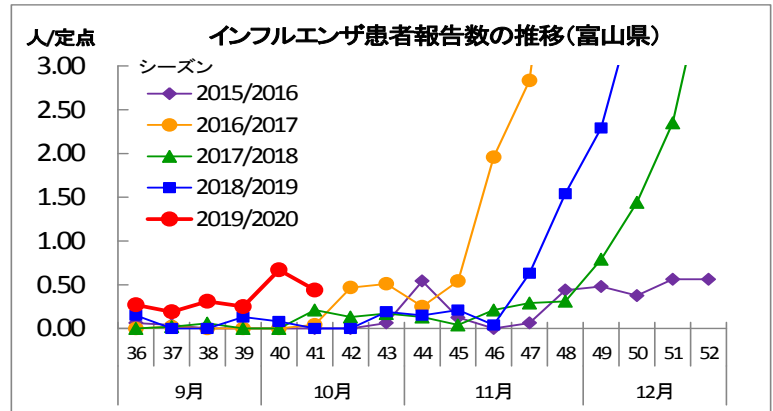
今週、インフルエンザの患者報告数が定点医療機関あたり0.44人となり、先週(0.67)と比べて減少しました。10月15日現在、県内のインフルエンザウイルス検出状況は、AH1pdm09が3件となっています。

インフルエンザは、例年11月から12月にかけて流行が始まります(図参照)。しかし、今年は全国での報告数が過去5年間の同時期と比較して多くなっており、今後の動向に注意が必要です。

インフルエンザワクチンは65歳以上の成人に対しては定期接種となっています。また、6歳未満児におけるインフルエンザ予防効果や65歳以上のインフルエンザ肺炎に対する予防効果が報告されています。特に基礎疾患のある高齢の方は、医師と相談のうえ、インフルエンザワクチンを接種することが望まれます。

また、次のことに注意して、インフルエンザの感染予防に努めましょう。

- 流行前にワクチンを接種する
- 咳エチケットを守る
- 手洗いを徹底する
- 室内の湿度を適度(50～60%)に保つ
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がける
- 症状がある場合は早めに医療機関を受診する



《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 5件 (①20歳代、男性 ②30歳代、男性 ③80歳代、女性
④80歳代、女性 ⑤90歳代、男性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①10歳未満、女性、O157
②10歳代、女性、O157)

四類感染症 レジオネラ症 1件 (50歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 百日咳 1件 (10歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	4.31 (↑)	4.03
2位	手足口病	2.38 (↑)	2.21
3位	ヘルパンギーナ	1.62 (↑)	1.07
4位	伝染性紅斑	1.38 (↓)	1.41
5位	RSウイルス感染症	1.34 (↓)	1.38
6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07 (↓)	1.45

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第41週 令和元年10月7日～令和元年10月13日）

分類	疾患	今週報告分（第41週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1			1	3	5	21	11	48	26	43	149
三類感染症	細菌性赤痢								1				1
	腸管出血性大腸菌感染症					2	2		3	6	5	11	25
四類感染症	E型肝炎							3		2			5
	A型肝炎							2					2
	つつが虫病							1					1
	デング熱											1	1
	レジオネラ症					1	1	4		14	10	19	47
五類感染症	アメーバ赤痢											4	4
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4	1	3	8
	急性弛緩性麻痺									1			1
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	6	11
	後天性免疫不全症候群											6	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		8	8	9	26
	水痘（入院例）							1	2			5	8
	梅毒							1	1	2	1	14	19
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳				1		1	1	5	74	62	96	238
	風しん								1			3	4
	麻疹									1	2		3
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	9	1	4	1	6	21	1,438	939	3,179	1,699	3,731
		1.29	0.20	0.31	0.14	0.38	0.44						
RSウイルス感染症		4		10	4	21	39	39	69	278	109	410	905
		1.00		1.25	1.00	2.10	1.34						
咽頭結膜熱		3					3	179	22	236	50	197	684
		0.75					0.10						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	1	10		17	31	116	123	650	251	1,060	2,200
		0.75	0.33	1.25		1.70	1.07						
感染性胃腸炎		24	21	28	2	50	125	1,089	882	1,397	480	3,254	7,102
		6.00	7.00	3.50	0.50	5.00	4.31						
水痘			1			2	3	19	20	48	15	248	350
			0.33			0.20	0.10						
手足口病		5	5	14	4	41	69	212	244	1,072	274	1,385	3,187
		1.25	1.67	1.75	1.00	4.10	2.38						
伝染性紅斑			2	4		34	40	123	71	462	123	666	1,445
			0.67	0.50		3.40	1.38						
突発性発しん		1		3	1	3	8	31	33	184	41	170	459
	0.25		0.38	0.25	0.30	0.28							
ヘルパンギーナ	2	7	30	1	7	47	144	118	312	74	275	923	
	0.50	2.33	3.75	0.25	0.70	1.62							
流行性耳下腺炎					1	1	4	7	9	1	24	45	
					0.10	0.03							
急性出血性結膜炎										13		13	
流行性角結膜炎							1	10	30	29	7	77	
細菌性髄膜炎									1		4	5	
無菌性髄膜炎							2	1			1	4	
マイコプラズマ肺炎					1	1		6	7		1	14	
					1.00	0.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）	1			2	1	4	1		2	2	4	9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が100.0%となっています。

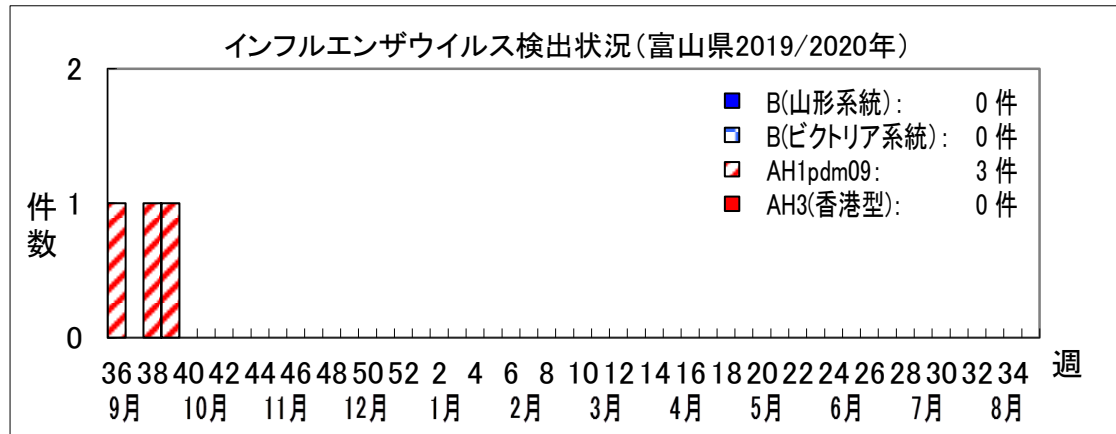
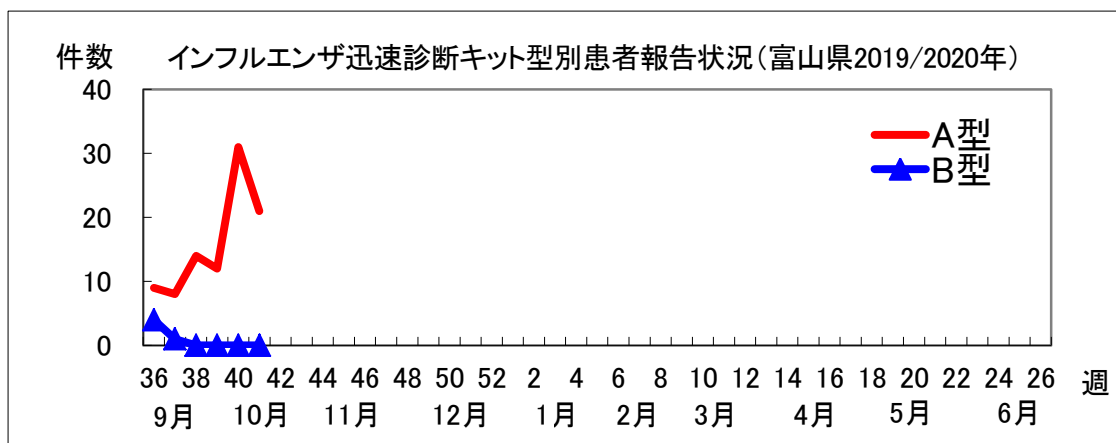
第41週(10/7~10/13)：富山県 0.44人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	2 / 7	9	0	0	9
中部	1 / 5	1	0	0	1
高岡	2 / 13	4	0	0	4
砺波	1 / 7	1	0	0	1
富山市	5 / 16	6	0	0	6
富山県	11 / 48 ^{※1}	21	0	0	21
富山県累計(2019年36週~)		95	5	2	102

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が11か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



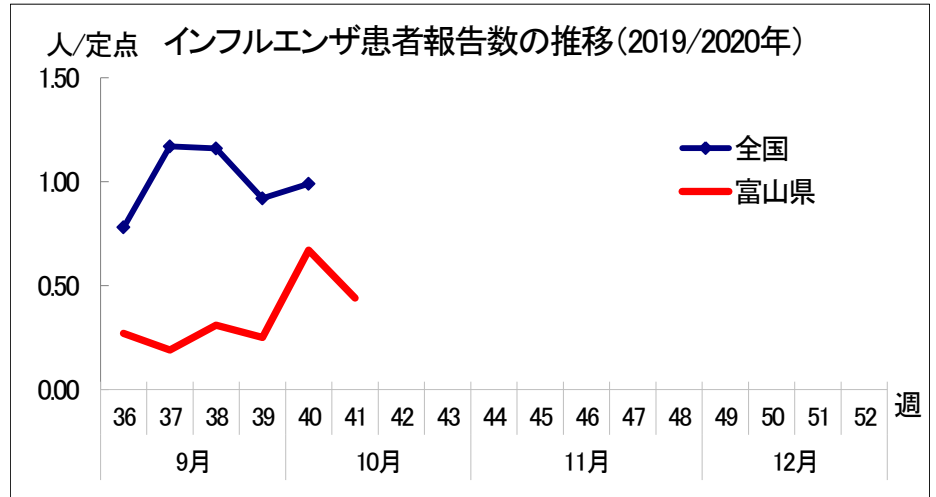


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 41 週 (10/7~10/13) : 富山県 0.44 人/定点

新川 HC (1.29)、中部 HC (0.20)、高岡 HC (0.31)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (0.38)

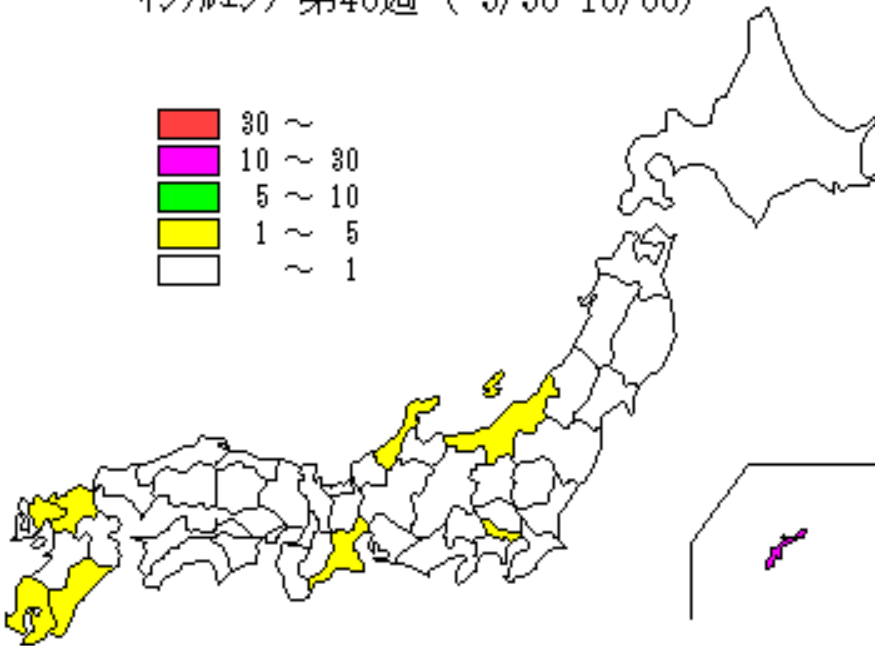
県内のインフルエンザの患者報告数は、先週(0.67)と比べ減少しました。流行入りの目安である定点医療機関あたり 1.00 人を超えていませんが、学級閉鎖が 2 件報告されています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 40 週 (9/30~10/6)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.99 人となり、前週の 0.92 人より増加しました。28 都道府県で前週より増加しています。18 府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第40週 (9/30-10/06)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.64	滋賀県	0.35
青森県	0.03	京都府	0.46
岩手県	0.48	大阪府	0.31
宮城県	0.40	兵庫県	0.14
秋田県	0.50	奈良県	0.22
山形県	0.48	和歌山県	0.12
福島県	0.71	鳥取県	0.20
茨城県	0.42	島根県	0.13
栃木県	0.18	岡山県	0.20
群馬県	0.09	広島県	0.17
埼玉県	0.38	山口県	0.78
千葉県	0.61	徳島県	0.05
東京都	1.05	香川県	0.06
神奈川県	0.85	愛媛県	0.51
新潟県	1.06	高知県	0.44
富山県	0.67	福岡県	2.30
石川県	1.40	佐賀県	1.72
福井県	0.41	長崎県	0.93
山梨県	0.90	熊本県	0.83
長野県	0.11	大分県	0.52
岐阜県	0.16	宮崎県	1.29
静岡県	0.43	鹿児島県	3.87
愛知県	0.41	沖縄県	26.83
三重県	1.08	全国	0.99

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年9月分）

		9月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			2		10	12	2	3	15		72	92
				0.67		2.50	1.20						
	性器ヘルペスウイルス感染症			1	1	3	5		7	9	6	31	53
				0.33	1.00	0.75	0.50						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ									5	8	11	24
	淋菌感染症					2	2	5		2		15	22
						0.50	0.20						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	7	1	1	5	16	10	20	26	19	42	117
		2.00	7.00	1.00	1.00	5.00	3.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1	1	1	3	2		11	7	5	25
				1.00	1.00	1.00	0.60						
薬剤耐性緑膿菌感染症					1	1					1	1	
					1.00	0.20							

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。